



1年 関 かおりさん

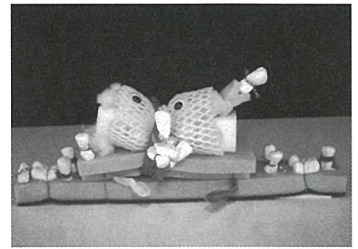


『わたしのすきなもの』

※新しい友達に、わたしのすきなものを知ってもらいたいと思っていました。



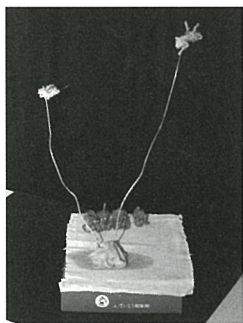
2年 林 美穂さん



『ふしぎなおかしの船』

※マシユマロやあめなど、大すきなおかしをいっぱいつけて作りまし

あつまれ みんなの力作



『ちようちよといも虫』



3年 村越 操真くん

※針金に、ちようちよを巻きつけて空を飛んでいる様子を工夫して作りました。



『いっしょにお出かけうちゅう人』

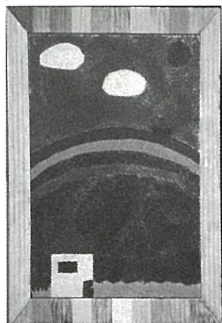


4年 加瀬 真弓さん

※くねくねまがるはりがねとぼたんを使っておしゃれなうちゅう人を作りました。



5年 小沼 可呼さん

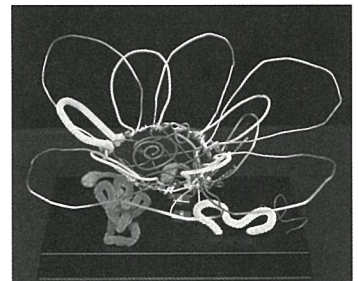


『空とにじ』

※大変だったのは、ちがう色がちがう色がまざらないように気をつけました。



6年 須合 麻衣さん



『はり金グニヤグニヤ』

※はり金で「ひまわり」を表現しました。花びらや、うずまきを工夫しました。



ひかり歌壇
伊藤 定男 (尾垂)
久々の雨に若葉の艶めきて
ゆれる木立の薫風に酔ふ
久しぶりの雨で木々が生き返り風に酔っている
藤代 敏子 (宮内)
目覚ましき医学の進歩胃カメラは
まさぐる医師のさきを映しぬ
体調不良の作者だが思考力は怠らない
越川 福子 (宮内)
薫風の山路に友と笛鳴らぬ
鳴るぞといつか懸命
遠い草笛作りの思い出
土屋 好 (虫生)
雨降れば想いめぐらす莫産を背に
後ずさりして田植えせし頃
雨降りの田植え風景

短評 鈴木 甲子幸
評者詠 折々に書きためし手記まとめみて
「続匠瑛風土記」出版試む